

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名： ペール缶 本体のみ
会社名： 株式会社 MonotaRO
所在地： 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階
担当者名： 商品お問合せ窓口
電話番号： 0120-443-509
FAX 番号： 0120-289-888
緊急連絡先： 所在地と同じ
整理番号： M210518

2. 危険有害性の要約

緊急時の対応：

通常の使用条件では危険有害性はない。火災に巻き込まれると、刺激性や毒性のヒュームや蒸気を放出することがある。

健康への急性影響の可能性：

吸入した場合： 加熱されない限り、吸入による有害性は予想されない。粉塵を吸い込むと、口、鼻及び喉を短期間刺激することがある。
眼に入った場合： 粉塵が眼に入ると、短期間、機械的刺激を起こすことがある。
皮膚に付着した場合： 粉塵が皮膚に付着すると、痒みと短期間の炎症を起こすことがある。
飲み込んだ場合： 可能性のある暴露経路はない。飲み込むと、短期間、胃と腸の機械的刺激を起こすことがある。

健康への慢性的影響の可能性：

発癌性： 該当なし
変異原性： 該当なし
催奇性： 該当なし
発達毒性： 該当なし

反復暴露または長期暴露により病状が悪化するという知見はない。

3. 組成、成分情報

化学的特性

明細：物質の混合は下記に記載されている。

化学名	CAS 番号	含有量(wt%)
ポリプロピレン(PP)	9003-07-0	100

同意語：

4. 応急措置

安全データシート

吸入した場合：

新鮮な空気の場所へ移す。呼吸していない場合、人工呼吸を施す。呼吸困難な場合、酸素を投与する。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

固形物が付着した場合、石鹸と水で洗う。溶融物が付着した場合、負傷部位を冷水に浸す。皮膚に付着した物質を取り除こうとしてはならない。炎症が生じるか持続する場合、医師の診断を受ける。

眼に入った場合：

コンタクトレンズの有無を確認し、除去する。直ちに多量の水で少なくとも 15 分間洗眼する。冷水を使用する。刺激が生じる場合、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

可能性のある暴露経路はない。意識があれば水で口をゆすぐ。医師の指示がない限り、嘔吐を促さない。

医師への注意事項：

対症療法と支持療法を行う。

5. 火災時の措置

一般的情報：

どの火災でも、MSHA/NIOSH 承認または同等の陽圧自給式呼吸器および完全な保護具を着用する。

適切な消火剤：

小さな火災：粉末消火薬剤を使用する。

大きな火災：水噴霧、霧状消火液または泡消火薬剤を使用する。水噴射を使用しない。

燃焼生成物：

火災中に、刺激性の毒性ガスまたはヒュームを放出することがある。本製品は、分解時に一酸化炭素、二酸化炭素および/または低分子量炭化水素を放出する。

特定の消火方法：

消火を行う者は、自給式呼吸器と完全な活動服（防護具）を着用する。火災から人を遠ざけ、風上に置く。火災に曝された容器を水で冷やす。

火災と爆発の危険性に関する特別な注意事項：

火災時には刺激性のガスと濃い煙が発生することがある。

6. 漏出時の措置

一般事項：第 8 項に示すように適切な身体保護具を使用する。

環境に対する注意事項：

製品を下水管に流さない。

封じ込めと清掃の方法及び材料：

粉塵の発生を避ける。熱や炎から遠ざける。材料を集め、再利用または処分用の容器に入れる。材料が溶融している場合、冷却する。凝固した後も材料が熱い場合があるので注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

注意：第 8 項に示すように適切な身体保護具を使用する。

安全データシート

取扱い：

床が滑りやすくなるので、漏出を避ける。工業環境に標準的な個人衛生と管理を行う。

保管：

品質を維持するために乾燥した涼しい場所に保管し、直火や直射日光から遠ざける。強酸化剤とアミン類の近くに保管しない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

作業場所の囲い込み、局所換気装置または他の設備対策を利用して、空気中の粉塵濃度を推奨暴露限界以下に保つ。作業中に粉塵、ヒュームまたはミストが発生する場合、換気し、空気中の汚染物質への暴露を限度以下に保つ。

暴露限界

該当なし

身体保護具

眼と顔の保護具：通常では必要ない。

皮膚の保護具：通常の条件では必要ない。熱い素材の取扱いには、必要に応じて耐熱服を使用する。

身体保護具：実験用の上着。

呼吸器の保護具：通常では必要ない。

換気対策：局所換気

大量漏出時の身体保護具：

スプラッシュゴーグル。全身を覆う服。防塵マスク。長靴。手袋。漏出物の吸入を避けるために自給式呼吸器を使用する。提案する防護衣が十分でないかもしれない場合、取扱い前に専門家に相談する。

換気：

局所換気：MSHA/NIOSH 承認の防塵マスク。適切なマスクは、暴露の種類と大きさに依存する。

9. 物理的および化学的性質

外観：	固体
色：	黒
臭い：	無臭
pH：	該当なし
融点：	PP：125~165°C
沸点：	該当なし
密度：	1.1~1.3g/cm ³
蒸気圧：	該当なし
分配係数（n-オクタノール/水）：	該当なし
溶解性：	水に不溶
引火点：	該当なし

安全データシート

自己発火温度：	情報なし
引火性：	非引火性
爆発特性：	該当なし
酸化特性：	情報なし
粘土：	該当なし

10. 安定性及び反応性

安定性：

推奨する保管条件で安定している。

重合：

起こらない。

危険有害な分解生成物：

該当なし

避けるべき条件：

混触禁止物質、火源、高温

混触禁止物質：

腐食性物質に溶解しやすい。強酸化剤。

反応性に関する特記事項：

該当なし

11. 有害性情報

第3項の危険有害性の要約を参照。

侵入経路：

該当なし

動物への毒性：

LD50：該当なし

LC50：該当なし

ヒトへの慢性的影響：

該当なし

ヒトへの他の毒性影響：

該当なし

動物への毒性に関する特記事項：

該当なし

ヒトへの慢性的影響に関する特記事項：

該当なし

ヒトへの他の毒性影響に関する特記事項：

該当なし

安全データシート

12. 環境影響情報

生態毒性：

該当なし

BOD5 と COD（5 日間の生物化学的酸素要求量と化学的酸素要求量）：

該当なし

生体蓄積性：

該当なし

生分解生成物：

短期的には有害な分解生成物が発生する可能性はない。しかし長期的には分解生成物が生じることがある。

生分解生成物の毒性：

該当なし

13. 廃棄上の注意

一般的情報：

廃棄物排出者は、廃棄される化学物質が有害廃棄物に分類されるかどうか決めなければならない。分類決定のための米国環境保護庁のガイドラインは、連邦規則集 40 CFR Parts 261.3 に記載されている。加えて、廃棄物排出者は、正確で完全に分類するために、州と地域の有害廃棄物規則を調べる。

廃棄物の処理方法：

連邦、州および地域の規則に従って処理する。

14. 輸送上の注意

米国運輸省の規制物質ではない。

正式品名： 規制なし

有害性等級： 規制なし

国連番号： 規制なし

容器等級： 規制なし

国際海上危険物輸送規則/危険物を運送する船舶の非常措置指針：規制なし

15. 適用法令

欧州/国際規則

本製品は、欧州既存商業化学物質リストに記載されている。

EC 指令に準拠した欧州のラベリング

ハザードシンボル：

適用なし

リスクフレーズ：

適用なし

安全データシート

セーフティフレーズ：
適用なし

HMIS（米国危険有害性物質識別システム）

健康障害：0
引火性：1
反応性：0
身体保護具：

全米防火協会：

健康障害の危険：0
引火性の危険：1
反応性：0
特定の危険：

連邦及び州の規制：

該当なし

カナダ・WHMIS（作業場危険有害性情報システム）：

カナダの WHMIS に基づいて規制はない。

規制の詳細については貴国の適切な機関に確認すること。

16. その他の情報

改定情報

前回の改定日：なし

今回の改定日：2016 年 7 月 26 日

その他

上記の情報は正確であると考えられ、当社が現在入手できる最良の情報を提供しています。しかし本情報に関して当社は明示的にも暗示的にも商品性やその他の保証をいたしません。また本情報の利用から起こることに対していかなる責任も負いません。本書は特定の製品機能を保証するものではなく、これにより法的に有効な契約関係が成立することはありません。